

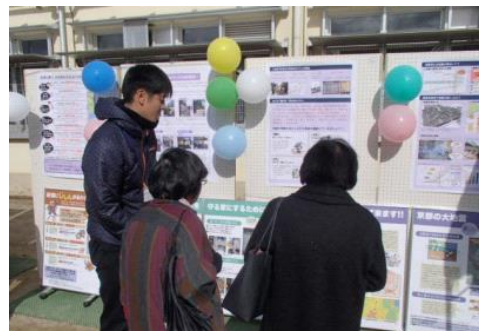
◆翔鷺ふれあいまつりで『防災まちづくりブース』を出展しました！

11月19日（日）に翔鷺小学校で開催された「第23回翔鷺ふれあいまつり」で、防災まちづくりブースを出展し、大人から子供までたくさんの方にお立ち寄りいただきました。

防災まちづくりコーナーでは、密集市街地の概要や翔鷺学区でのこれまでの防災まちづくりの取組、助成事業による事例等を紹介しました。

すまいの耐震コーナーでは、京安心すまいセンターにより、パネルで京都市の制度の説明や模型を組み立てて家の揺れ方を学ぶ「紙ぶるる」で、すまいの耐震化の大切さを楽しく学んでいただきました。

防災教室では、防災まちづくりの取組の一環として小学校に設置した「防災まちづくりマップ」を使って、災害時の小学校までの避難や事前の備え等について子供たちと一緒に確認をしました。



◆各町内の防災部長を対象に『防災まちづくりセミナー』を実施しました！



12月1日（金）に、翔鷺会館で開催された総合防災訓練説明会後に、各町内の防災部長を対象とした「防災まちづくりセミナー」を実施しました。セミナーでは、スライド等を使い、密集市街地での地震被害の状況や、京都で地震が発生した際の被害の想定等について勉強しました。

また、平成25年度から取り組んできた翔鷺学区の防災まちづくりの取組を、防災まちあるきや、まちとすまいの安全点検の写真等を交えながら振り返り、継続して取り組む大切さを共有しました。

最後に、地域の方が取り組む防災まちづくりや防災対策について京都市が支援している事業や、翔鷺学区で既に取り組まれた事例等を紹介しました。

町内の防災部長の皆様、ご参加ありがとうございました！！

密集市街地・細街路における防災まちづくり ～災害に強いまちを目指して～

密集市街地の危険なところ

延焼を防ぐ広い道路や空地が少ない



①古い木造住宅が密集し、火が燃え広がしやすい

耐震性・防火性が十分でない建物が多い

緊急車両が通れず、避難や救助も困難



②狭い道・行き止まりの道が多く、避難や救助が困難

建物等が倒壊し、避難経路が塞がれるおそれ

花折断層地震が発生すると、翔鸞学区で予想される震度は

震度
6強

はわないと動くことができない
飛ばされることもある



耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる



固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる

密集市街地のよいところ



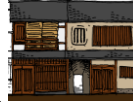
暮らしやすい生活空間

- ・通り抜けが少なく静か
- ・路地に住む住民の共同の生活空間



豊かなコミュニティが息づく場

- ・住民同士の顔が見えるコミュニティ
- ・路地で行われる地蔵盆



京都らしい町並み

- ・京町家が建ち並ぶ風情ある町並み
- ・路地の特徴のひとつ「トンネル路地」

翔鸞学区での防災まちづくりの取組



平成 25 年度
防災まちあるき



平成 26 年度
防災まちづくりマップ作成



平成 27 年度
防災まちづくり計画策定



防災まちづくり
掲示板



防災マップの
説明

平成 28・29 年度
防災まちづくりプロジェクト事業

京都市の支援事業

～京都市の助成制度を活用しながら、災害に強いまちをつくりましょう！～

■ろじの対策

袋路の避難安全性を向上するため、二方向避難のための緊急避難扉設置や、袋路の入口部の耐震・防火改修工事の費用を補助。

【補助額】

- 緊急避難扉の設置：上限 **30 万円**（全額補助）
- 袋路の入口部の耐震・防火改修：上限 **250 万円**（全額補助）
- 袋路の入口部の工作物の撤去等：上限 **50 万円**（全額補助） 他

■マチの対策

まちなかで災害時に危険となる老朽木造建築物等を除却・改善するなど、まちをより安全にするための工事費用を補助。

【補助額】

- 老朽木造建築物の除却：上限 **60 万円**（補助率 2/3）
- 危険ブロック塀の除却：**11,600 円/㎡**、新設：**8,900～14,700 円/㎡**（仕様により異なる）
- 防災ひろばの整備：上限 **200 万円**（全額補助） 他

※各制度には要件があります。詳しくはお問合せください。【問い合わせ先】 京都市まち再生・創造推進室 電話：075-222-3503

危険ブロック塀等改善事業

ひび割れた高いブロック塀を、倒れにくい金属塀に作り替えました



笹屋四丁目
（平成 26 年度）



「防災まちづくり計画」に基づき、安心・安全に住み続けられる災害につよいまちを目指した「防災まちづくり」を継続して進めていきます。引き続き、みなさんのご参加・ご協力をお願いします。